

http://www.labornetjp.org
レイバー
 ネット
 日本から世界から
 はたらくものの
 情報ネットワーク

Newsletter
No.68

2016年7月10日

発行 レイバーネット日本
 〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108
<http://www.labornetjp.org>
labor-staff@labornetjp.org
 電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

10年目迎えたレイバー映画祭 希望と勇気！ことしも熱い！

2007年9月に始まり、ことして10年目となった「レイバー映画祭 2016」は、7月23日・田町交通ビル6F ホールで開催されます。はたらくものの「勇気と希望」をもらえる映画祭として、すっかり定着しました。今回は、昨年日本で劇場公開された超話題作『パレードへようこそ』をメインに、ほか4編の新作ドキュメンタリーを揃えました。『オキュパイ・ベーカーリー〜ファストフード労働者の闘い』はレイバーネットが米国から入手した本邦初公開作品で、ファストフードで働く人たちの感動ドキュメンタリーです。日本でもインドカレー店「シャンティ」で同様のたたかいは始まりました。こちらの映像は『ショートビデオ・日本最前線』のコーナーで上映します。また武蔵大学の学生がつくった初々しい作品『埋もれた時限爆弾〜さいたまアスベスト被害』や医療問題に迫った『がんを育てた男』も見逃せません。ことしもレイバー映画祭が熱い！ぜひ友人を誘って、ご参加ください。



ゲイと炭坑夫の連帯は可能か？ 映画はのっけから軽快な勇ましい労働歌ではじまる。時代は1983年から84年の1年間、サッチャー政権とゼネストで対決した炭鉱労働者とそれを支援した「ゲイ&レズの会」との葛藤や連帯を描いたものであるが、これは実話に基づいた作品だ。原題が『プライド』とあるように、サッチャーによって労働運動の屋台骨をへしおられたり、人間としての尊厳を踏みにじられた人々の「プライド」をうたい上げている。炭坑夫とゲイやレズは、これまで一度も会ったことがない。全く違った世界なのだ…と思われた。また、その時代、エイズがはやっていて、嫌悪を抱く村人もいて、彼らを排除しようと新聞社に密告する。そんななかで果たして「連帯」の握手は可能だろうか。ラストシーンには胸が熱くなる。 (木下昌明)

●『埋もれた時限爆弾〜さいたまアスベスト被害』13.00～13.50

制作：武蔵大学社会学部2年永田浩三ゼミ / 2016年 / 36分

「久保田ショック」から10年。全国各地でアスベスト被害をめぐる裁判が始まっている。埼玉県に住む松島恵一さん一家は、2010年、母・かつ子さんを突然亡くした。かつ子さんはアスベスト製品をつくる工場内の社宅に暮っていた。1枚の写真

プログラム

●『パレードへようこそ』10.15～12.20

監督：マシュー・ウォーチャス 2014年 / 121分 / イギリス

＜レイバー映画祭カンパのお願い～「学生無料」を支えてください＞

レイバー映画祭は5本みても1500円。「若い人や失業者など条件の悪い人に観てほしい」という思いから参加費を据え置き、低料金に設定しています。また昨年からは「学生無料」を打ち出しました。そのおかげで10名以上の学生が参加しました。去年呼びかけた映画祭カンパは95,000円（約20人）

となり、映画祭成功の財政基盤を支えました。今回もフィルム代や日本語字幕作成費などで多額の費用がかかります。ぜひ「レイバー映画祭2016」を成功させるために応援してください。金額の多寡は問いません。同封の郵便振替をご利用ください。

<1ページから続き>

が残っている。1962年、アスベスト管の山の横を花嫁姿を身にまとい結婚式場に向かうかつ子さん。48年後アスベストは牙をむき、中皮腫発症から2ヶ月でかつさんは亡くなった。いま埼玉では工場周辺で中皮腫の患者が次々見つかる。学生たちは事実掘り起こしの過程を記録した。アスベスト問題をわかりやすく伝えた作品で、東京労働安全衛生センターが制作協力している。*初公開*

●『がんを育てた男』 13.50 ~ 15.00

制作：ビデオプレス 2016年/60分/日本



2012年12月、映画批評家の木下昌明さんのがんが見つかった。そのとき頭が真っ白になったという。医師は即手術を求めたが、かれはこれを拒否し、しばらく様子を見ることにした。その日から、常識とされたがん医療との闘いが始まった。何人もの医師との面談をビデオで撮り、本を読み、治療法を模索した。それはかれの映画批評の精神と通底していた。まだ動けるうちは動く。仕事に出かけ、映画の試写会や国会前のデモにも参加しつづけた。それをカメラは追った。はたして…。*初公開*

●『ショートビデオ・日本最前線』短編4作品 15.00 ~ 15.30



制作：土屋トカチ・湯本雅典・西中誠一郎・松原明

安倍政権のもと日本各地で問題が噴出している。労働現場でのたたかいも続く。このコーナーでは、「沖縄米軍属事件」「フクシマ帰還問題」「セブンイレブン店長いじめ」「インドカレー店・シャンティのたたかい」など、いま一番ホットな日本の映像をお送りする。*初公開*

●『オキュパイ・ベーカリー～ファストフード労働者の闘い』 15.45 ~ 17.10

監督：レイチェル・リアーズ、ロビン・ブロ



チュニック 2014年/84分/アメリカ 原題「The Hand that feeds」

在留資格のない労働者という不安定な立場を利用して、経営者から搾取されつづけたメキシコからの移民労働者らが、職場で権利と尊厳のために蜂起する姿を描いたオキュパイ・ベーカリー。米国ファストフード労働者による最低賃金引き上げキャンペーンのはしりとなったニューヨークのファストフード・ベーカリーで起こるこの闘いには、怒りと涙、仲間の温かさと裏切りが織り交ざったドラマがあります。立場の弱い労働者が、職場の不条理に対して「我慢も限界だ」と声を上げ、団結して権利のために立ち上がるのは、日本で闘う私たちにも共感できるストーリーです。職場占拠をはじめたの労使交渉、自主営業などを通して労働者が職場の主役となっていく過程をとらえたドキュメンタリーは、深く胸に刻まれる一本となること間違いなし。日本初公開です。

〔追記〕私はこの作品が発表されたことを数年前に知り、ずっと観たいと思っていました。今春シカゴのレイバーノーツ大会で上映していたのですが、残念ながら見逃しました。そこで直接、DVDを入手し日本語訳をつけて、今レイバー映画祭で上映することになりました。ぜひご覧ください。(日本語版制作・松元ちえ)



●ガイドブック『がんを育てた男』発行

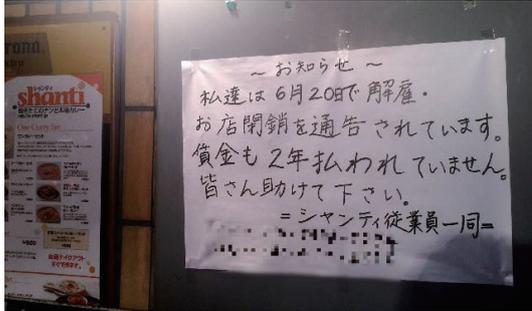
ドキュメンタリー映画『がんを育てた男』がレイバー映画祭2016で初上映されますが、その作品解説ガイドブックが発行されます。木下昌明さんのエッセイは読み応えがあります。また制作者(ビデオプレス)のことばなどを収録しました。36ページ・500円。レイバー映画祭会場で発売。直接注文もできます。

●レイバーネット今後の予定

8月は恒例のビアパーティ(日程未定)。9月~12月の第2第4水曜日は、レイバーネットTVの2016年後期のプログラムを放送します。オープンチャンネル枠がありますので、あなたの番組企画を寄せてください。そして、12月17日はレイバーフェスタ(田町交通ビル6Fホール)です。また適宜、例会企画などもやりたいと思います。

レイバーネットが広げた「シャンティ」事件 それは「一枚の張り紙」からはじまった！

ネットやマスコミで話題が沸騰しているインドカレー店「シャンティ」の解雇追い出し問題。この発端は6月14日、「解雇される。助けてください！」と訴えた一枚の「張り紙」からだ。これがツイッターで拡散され、翌15日にはYouTubeで動画「従業員は訴える」が配信された。それを観た人たちが「これは酷すぎる」とあつというまにSNSの話題になり、マスコミの注目を浴びたのである。



シャンティ従業員の相談役であるバン

グラデシュ人アミン氏から私に電話連絡があったのは5月下旬。以来、取材を進めるとともに、日本語が不自由なかれらインド・バングラ出身の従業員15人のサポートもすることになった。「6月17日までに退去せよ」というシャンティ社長の通告を受け、追いつめられたとき「お客に知らせよう」と提案したのは、レイバーネット会員のみゆきさんだった。そしてあの「張り紙」が実現した。翌日には、YouTubeに動画を配信し、従業員の生の声を伝えた。また6月22日のレイバーネットTVでは緊急特集を組み、3名の従業員が生出演して訴えた。

シャンティ南大塚店に私は連日通った。「解雇・追い出し」とたたかうには労働組合をつくるしかない、と思っていた私は、そのことを何度もアドバイスしたが、本人たちは「組合はカネをとられるところ」と応ぜず、労基署や無償の弁護士を探すことに汲々としていた。しかし時間だけが経過し、6月20日の解雇日が迫っていた。そうした状



況のなかで、やっと18日にコンタクトがとれたのが外国人労働者問題の第一人者・指宿昭一弁護士だった。そこから流れが大きく変わった。ブラック経営者とたたかう態勢ができたのだ。そして、6月23日に待望の「労働組合」シャンティユニオンが結成された。上部団体に加盟しない「企業内組合」の形にして、かれらの「カネの心配」をクリアした。長年やってきた指宿弁護士の知恵だった。

6月24日裁判所の認定を受け、シャンティは会社・社長とも「破産」した。そして、雲隠れしていた児玉社長も27日にみんなの前にあらわれた。「もう逃げ切れない」。この日、社長を引っ張り出したのは、メディア報道のチカラであった。児玉社長はカメラの放列の前で謝罪はしたものの形だけで、みんなの怒りを収めることはなかった。「倒産」で新たな交渉相手は「管財人弁護士」となった。

いまお店の前には、「ラゲラホ(がんばろう)。我々は正義を求める」のバナーが掲げられている。かれらは行くあてもなく、お店に泊まり込んで、未払い賃金の支払い、新たな店舗経営者探を始めている。ぜひ「シャンティユニオン」への皆さんの支援と注目をお願いしたい。なお7月23日のレイバー映画祭では、シャンティの最新映像を上映する予定だ。
(松原明 7月3日)

トンデモ会社「アリさんマークの引越社」とのたたかい

『アリ地獄天国(仮)』制作すすむ

制作中のドキュメンタリー映画『アリ地獄天国(仮)』。漆黒の「ブラック企業」アリさんマークの引越社(以下、引越社)で正社員として働きながら、不当な労務管理と闘う西村有さん(仮名)を追っています。80名を超える皆さまに制作費カンパをいただき、取材を続けております。感謝致します。今年に入ってから、引越社は団体交渉を拒否し続けてきました。5月下旬、「霞ヶ関駅」周辺で会場を探しているとの回答が届きます。本社所在地及びユニオン事務所からも近い、東京都千代田区霞ヶ関付近だと思いきや、交渉前日の深夜に埼玉県川越市の「霞ヶ関駅」を指定してきました。団交開始は18時。16時30分まで都内で勤務している西村さんは、どんなに急いでも開始時刻に遅れてしまいます。さらに翌週には、会場は記されているものの、日付の記入がない回答が届きます。日時を確認すると「昨日

でした。会場で待っていました」と、翌々日に回答が届く始末…。業界繁忙期である2月から5月、業績が著しく低下したといわれる引越社。こんな態度では、会社の行く末が心配です。西村さんは6月末に「シュレッダー係」配属2年目を迎えます。正念場が続きます。西村さんにエールを！
(土屋トカチ)



「川柳+報道写真」で時代を撃つ！



推挙した国のリーダー知らん顔（笑い茸）

2016年も時代の激動がつづいています。わがレイバーネット川柳班も毎月句会を開催し、時代を反映した活発な投句とディスカッションが行われています。最近つくられた句に、報道写真を組み合わせてみました。



被爆者の肩を抱く手でオズボタン（なずな）

なおレイバーネット川柳班では、9月17日、岩手で行われる「鶴彬碑前祭」に1泊ツアーで参加します。関心のある方はレイバーネット事務局までご一報ください。

新会員紹介

●沖縄問題を仲間と学ぶ Y・F

みなさん、はじめまして。先日レイバーネットに入会させていただきました。松原明さんと土屋トカチさんが講師を務めている「川崎市アートセンター3分間ビデオ講座」を受講したことなどのつながりで入会させていただきました。私は今年の3月に大学を卒業し、現在は働いています。大学時代は原発、沖縄、植民地責任の問題などに興味・関心があり、友人たちと勉強していました。今年の2月には沖縄へ行き、普天間、辺野古、高江、伊江島などへ行ってきました。今は月1回のペースで学習会を開催し、沖縄の問題について友人たちと学んでいます。レイバーネットのMLにはたくさんのお有益な情報があり、よく活用させていただいております。今後も働きながらになりますが、引き続き、いろいろなことを学んでいこうと思っています。よろしくお願ひいたします。

●レイバーネットTVは欠かさず視聴

清野圭一

初めまして、清野と申します。数年前に体を壊してから非正規の仕事で何とかかんとか生活しています。私とレイバーネットとの出会いは福島原発事故が発生した2011年。以来レイバーネットTVは欠かさず視聴しています。それ以前から土屋トカチさんのドキュメンタリー作品『フツの仕事がしたい』のDVDブックを持っていたので土屋

さんが司会をされていてびっくりしたのを覚えています（皆さまご覧になられていると思いますが、とても良い作品です）。7月には参議院選挙が行われます。市民の方々の呼び掛けによって実現した野党共闘ですからこれを無駄にせず、一議席でも多く獲得して憲法改悪を阻止し、立憲主義を死守しなければこれから先の日本には絶望しかないように思います。まさに崖っぷちの日本ですが、労働者一人ひとりが力をつけていくことが本当に大切だと考えます。これからもレイバーネットでいろいろと学ばせてください。今後とも宜しくお願ひいたします。

●多様な表現が楽しい

宮平真弥

最近、都内某所でジョニーHさん、壺花花さん、乱鬼龍さんと知り合うことができました。イベントカレンダーは前から重宝していたのだが、改めて、替え歌あり、風刺漫画あり、川柳ありと、レイバーネットは凄いことになっていると思ひ知らされた。「TV」も幅広いテーマが嬉しい。102号は欧州の社会運動特集。アイスランドの海賊党が面白い存在。105号は沖縄の基地被害。一坪反戦地主会の外間さん、山野さんの抑制した怒りがじっとりと伝わる。最後に、最近の拙論を紹介させていただきます。「近代沖縄と日本の国防」（『季刊現代の理論』デジタル版6号 <http://gendainoriron.jp/vol.06/index.html>）、「沖縄戦の慰安婦に関するノート」（『月刊琉球』32号）。「沖縄は日本の固有の領土か？」（『月刊琉球』35号）。「カタルーニャ独立運動から考える辺野古」（『うるまネシア』21号、今年7月発行

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 570名

ウェブアクセス 1日 7,500

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合や個人が全国にアピールできる絶好の場所です。

年会費 3,000円

(B会員 = 5,000円 通常 + TVサポート)

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本

銀行口座 東京都民銀行 小竹向原出張所

普通 55002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp

電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578